

Constellation of stars news

「煌星」

きらぼし／ほしのきらめき

MORISEA SAID

2024年度が終わろうとしています。

1年が終わるな、と感じるのはお正月よりも3月の方が実感します。3月は卒業シーズン。別れの季節でもあります。次年度4月の準備が同時進行で始まり別れを惜しむ暇もなくバタバタとします。なんだか落ち着かない毎日を過ごしていますが新たな生徒を迎え、また一味ちがうアカデミーが始まっていくのも楽しみです。

「型破りは型にはめないと生まれない」

SEISA アカデミーは型というか、既存の枠に当てはめない自由な環境で子どもたちの才能を伸ばしていくことを大切にしてきました。しかし、毎日児童生徒と過ごしていく中で「自由」との付き合い方が難しく、同じ空間で様々な児童生徒が過ごしていく環境ではある程度の「線引き」「決まり」が必要なんじゃないかということに気づきました。そこから「アカデミー5つのチャレンジ」が生まれるわけですが、これは学習に対しても同じようなことが言えました。「自分の好きなところをどんどん探求しよう」は魅力的で好奇心を掻き立てますが、好きなことを突き詰めていく過程で自分の苦手分野や興味関心のないことに遭遇することもあり、深掘りの手前で完結してしまう。もっとこの先を探求できたら面白いのにもったいないな～と感じたこともありました。結局「壁」を乗り越えるには基礎基本に戻って積み上げるしかないんだな・・・これに耐える忍耐力が必要だよな・・・と改めて気づきました。1周して分かったのは基礎基本の「型」を覚えることが大事だということです。もう一度基礎基本に立ち戻って「型」を学ぶ時間を大事にしていきたいと思います。

月間スケジュール (3/16～5/3)

日	月	火	水	木	金	土
3/16	17 煌星 25 号 発行	18	19	20 春分の日	21 修了式 春休み 4/10 迄	22  下弦
23	24	25	26	27	28	29  新月
30	31	4/1	2	3	4	5  上弦
6	7	8	9	10	11 始業式	12 星槎 中学 入学式
13  満月	14 平常授業 開始	15	16 健康診断 (中学生)	17 健康診断 (中学生)	18 健康診断 (中学生)	19
20	21 煌星 26 号発行  下弦	22	23	24	25	26 保護者会 ①
27	28  新月	29	30	5/1	2	3

次年度検定のお知らせ ※目安です。参考にしてください。

【英検】第1回:5月下旬/第2回:10月上旬/第3回:1月下旬

【漢検】第1回:6月中旬/第2回:10月下旬/第3回:2月上旬

【数検】第1回:6月上旬/第2回:11月中旬～下旬/第3回:2月中旬

特集:SEISA アカデミーみんなが選んだ 10 大ニュース

【総合順位】

第1位	2期生 10人入学	274 ポイント
第2位	アカデミー生それぞれの成長	232 ポイント
第3位	マイプロプレゼン大会実施	228 ポイント
第4位	あいちゃんパパになる	216 ポイント
第5位	K君 LINK で MVP	163 ポイント
第6位	よっしー降臨	135 ポイント
第7位	SAAB 参加	123 ポイント
第8位	生徒企画を実施	103 ポイント
第9位	スキー実習参加	97 ポイント
第10位	キャンプ参加	74 ポイント

◆ポイント配点1 アカデミー生と授業担当スタッフ

1位 20ポイント 2位 18ポイント 3位 16ポイント 4位 14ポイント 5位 12ポイント

6位 10ポイント 7位 8ポイント 8位 6ポイント

◆ポイント配点2 アカデミー生保護者といつもはいないスタッフ

1位 8ポイント 2位 7ポイント 3位 6ポイント 4位 5ポイント 5位 4ポイント

6位 3ポイント 7位 2ポイント 8位 1ポイント

<全体を通じての総括>

今回の順位は、アカデミー生8票、スタッフ12票、保護者12票の投票結果です。

候補に挙げた選択肢は、アカデミー全体の動き群3つ、通常授業群6つ、特別授業群8つ、特別活動群8つ、スタッフ関連群6つの、全部で31候補がエントリーしていました。すべての項目にポイントが入っていました。

10位以下は接戦で、11位選択授業の増加が71P、12位アカデミー生のチャレンジ決定が66Pでした。すべての部門で上位3位以内なのはプレゼン大会でした。4位まで広げると2期生10名の入学、5位まで広げると「K君 LINK で MVP」が入ってきます。いろいろな視点で見てみてください。

【アカデミー生部門】

【スタッフ部門】

第1位	あいちゃんパパになる	112	第1位	2期生 10人入学	146
第2位	マイプロプレゼン大会実施	62	第2位	アカデミー生それぞれの成長	143
第3位	K君 LINK で MVP	62	第3位	マイプロプレゼン大会実施	111
第4位	2期生 10人入学	58	第4位	K君 LINK で MVP	70
第5位	よっしー降臨	54	第5位	生徒企画を実施	68
第6位	スキー実習参加	50	第6位	アカデミーのチャレンジ決定	65
第7位	SAAB 参加	48	第7位	あいちゃんパパになる	61
第8位	キャンプ参加	44	第8位	よっしー降臨	55
第9位	かんだ降臨	40	第9位	SAAB 参加	46
第10位	生徒企画を実施	34	第10位	選択授業の増加	43

【保護者部門】

第1位	2期生 10人入学	70	保護者部門はスタッフ部門と似た結果ですが、編集委員会の中では、それは大人目線なんだから当然だろうとまとめられていました。たしかに、アカデミー生部門ではアカデミー生それぞれの成長はベスト10入りしていません。では、何位だったかというとなんと11でした。10位と2ポイント差の32Pですので、アカデミー生の自己評価はまあまあだったといえる気がします。また、保護者部門のベスト10は何らかの方法で保護者の方が関わっていたかたのものでした。当事者意識が反映しているということですね。自分の頭で考えて主体的に行動することが人類共通の学びの基本姿勢です。
第2位	アカデミー生それぞれの成長	57	
第3位	マイプロプレゼン大会実施	55	
第4位	あいちゃんパパになる	43	
第5位	K君 LINK で MVP	31	
第6位	SAAB 参加	29	
第7位	よっしー降臨	26	
第8位	藤堂さん特別授業	18	
第9位	小美濃先生特別授業	17	
第10位	選択授業の増加	12	

投稿

青嵐

草原を歩く。朝露が真珠のように輝き、そらを映す。靴が濡れるのも構わず進む僕の跡は、マールに染まる。陽光のしぐさが柔らかく転がり、僕の頬を撫でる。なんだか顔が熱を持ち、振り払い、走り出した。雲はなく、身を隠すものはない。そのうち一人ぼっちの樹を見つけた。その陰の中に入り、やっと一息吐き、体を丸め、座り込む。いつかそのまま身体は沈んだ。

沈んだ底は海の底で、夢の航路は川のような。船を手繰り寄せ、流れに身を任せる。船の中に置かれたランタンの明かりから染み出す、オイルの香りは温《ぬる》かった。のんびり川を流れていると、ひゅうひゅうと誰かが鳴いた。思わずあたりを見回して、誰かを探す。誰かは見つからず、音はますます強くなる。すると突然身体が上に引っ張られた。

次に見たのは揺れる木の葉だった。ひゅうひゅうと、鳴いていたのは風だったらしい。あまりに風が強いので、影が溶け出してしまっている。そんなに強く引っ張っても動くことはないだろうに。その綱引きをどこか上の空で眺めていたら、吸い込まれてきた雲が雨を溢れさせ、その粒に光が反射し棚引いた。朝露も舞い上がり、まるで星屑のような。キラキラと、しかし激しく、踊っていた。思わず手拍子をたたき、見とれていたら、靴どころか全身濡れて、歯が鳴り手が冷えてしまった。そろそろ帰らなければならないらしい。名残惜し気に立ち上がり草原の会場をぬけた。すっかり血色の悪くなった唇を震わせ、口元は弧を描いていた。

二〇二五年 一月 二十六日

YOSSY'S ROOM

スポーツや格闘技、その他、次に何が起こるか分からないものに対して、臨場感を持って客観的に状況を伝えてくれる【実況アナウンサー】って凄いなあ、と思います。逆にこの間は、情報不足、誤情報、どちらか寄りの実況、主観が強すぎるなどで興ざめし音量を下げてしまいました。

そんな実況の中でも心に残る名実況というのがたまにあるんですね。

有名なところで、

【伸身《しんしん》の新月面が描く放物線は栄光への架け橋だ！】(アテネオリンピック体操団体決勝時)

【13歳、真夏の大冒険！】(東京オリンピックスケートボード(西矢さん)金メダル獲得時)

特に、後者の実況はフジテレビの倉田大誠アナウンサー。競馬の実況でも活躍されていて素晴らしいと思います。競馬のレースといえば、1分~3分以内に必ず全頭の馬名を一度は言うのがルールです。

手際よく状況を伝え、盛り上がるゴール前では熱のこもった実況をし、ゴール後は冷静に着順を踏まえ所感を述べねばなりません。そんな倉田アナの実況で大好きなものがあります。

コロナウイルス感染拡大で競馬業界も無観客での開催を強いられていたころ、一頭の三冠馬(G1というクラシックレースを3度優勝)がいました。ある意味、暗い世間に希望を与えていたその馬の引退レースは大舞台のジャパンカップ。それまで調子を落としていたその馬が東京競馬場の最終コーナーを回り坂を駆け上がってきます。この段階で観客(テレビの前の私も)は感極まっていた、はずです。ゴール版が近づいてくると同時に実況が叫びます。

【他にはもう何も(どの馬も)来ない! 空の彼方に最後の軌跡! コントレイル!】

馬名の【コントレイル】の意味は【飛行機雲】です。

あいちゃんだより

ご入学・ご進学・ご進級される皆さま、おめでとうございます。アウトプットゼミの皆さんのおかげもあり、3月5日に新入生・進学・進級を祝う会「シン・祝う会」を無事に終えることができました。お好み焼きもホットケーキもとても美味しかったです! 「シン・祝う会」では、4月から入学する新しい仲間との顔合わせとともに、今年度で2人のアカデミー生が卒業することも発表されました。新しい仲間を歓迎する気持ちとともに、アカデミーを卒業する人のことを思うと寂しい気持ちにもなります。卒業する2人は、それぞれ希望する場所で新しい生活をスタートさせるようですので、4月からはアカデミーでの生活を振り返る暇もないくらい、充実した毎日をご過ごして欲しいと願っています。小学生から高校生の年齢まで通うことができるアカデミーでは、卒業はまだまだ先のことだと思っていましたが、意外にも早いお別れとなってしまいました。新しい環境でも、自分の興味や関心がある分野への探究心は忘れずに交友関係やクラブ活動など、その年代にしかできない経験を積んでいってほしいと思います!

今月のクイズ

さて、以下の?に入るのは何でしょうか。

5 : こいぬ 19 : やぎ 33 : うさぎ 47 : かじき 61 : こと

75 : くじら 89 : こぐま 103 : ? 117 : とかげ 131 : やまねこ

数字はとっても大事ですよ。GO! GO! です。

できた方はいつも通り academy@seisa.ed.jp までメールで回答してくださいね。

(前回の解答)

- ①左の子どもの左手で握っているシャベルの持ち手の形が違う。
- ②右の子どもの押している雪かきの撮ったの形状が違う。
- ③背景に見える木のうち中央の木の雪のつもりかたが違う。



STARS NEWS

煌星編集委員会を立ち上げています。委員は、K君、Sさん、Kさん、K君です。

お試しに、この号は今年度の煌星の編集方法を踏襲してみんなでやってみました。今回は編集会議の議題は限定的に、10大ニュースにしました。

議論の中では、アカデミー生やスタッフのポイントのつけ方に関してより公正な配点を求めるべきではないかなどの意見が出て検討しました。その結果、アカデミー生と授業を担当しているスタッフの配点は今回同じになりました。昨年の10大ニュースでの配点は、ポイントが大きい方から、スタッフ>アカデミー生>保護者で、スタッフとアカデミー生の配点は倍近い差がありましたので、よりアカデミー生中心のものに近づいたといえます。実際の議論では、出席率とか出勤率で変化を持たせる方がいいのかなどとも検討しました。時間的な関わり具合の差を反映させるかどうかという議論です。質的な評価と量的な評価をどう塩梅するかという実に深い議論でもあります。

編集委員会では今後、2026年度の発行計画から検討していく予定です。

これからも煌星楽しみにしてください。

編集後記

2024年度もこの第25号で終わりです。煌星第1号は全2ページで編集後記が登場するのは第2号からで3行です。続く3号では2行、4号3行、5号5行、6号11行、7号8行、8号11行、9号13行、10号7行、11号11行、12号10行、13号9行というのがアカデミー1年目の煌星の編集後記の分量推移です。半年たってなんとなく見えてきたという感じでしょうか。2年目シーズンの14号からは編集後記10行前後、ページ構成6ページである程度固定したページ構成でやってきました。そして、次回3年目に突入する煌星26号からは、ニュースで紹介した編集委員会が進めていきます。まさに今編集会議は進行中で、ページ構成や毎月の特集について話し合いがもたれているはずです。さあ、次号煌星はどんなページ構成になるのか、編集後記は誰が書いているのか、原稿を頼まれた人たちはちゃんと期日を守って作成し、発行予定日である毎月指定月曜日に発行できるのか。皆さんこれだけでも知りたくて待ち遠しいですね。そう、まだみぬ未来はいつもワクワクなのです。(YM)